

標 題 : The antioxidant potential of Mediterranean diet in patients at high cardiovascular risk: an in-depth review of the PREDIMED
高い心臓血管系リスクの患者における地中海食の抗酸化能 :
PREDIMED の詳細な総説

著 者 : H. E. Billingsley, et al. (米国 バージニア・コモンウェルス大学
VCU Pauley 心臓センター)

掲 載 誌 : Nutr. Diabetes. 2018 Mar 9; 8(1): 13

要 旨 :

心臓血管系疾患は、世界中で第1位の死亡原因である。

食事は心臓血管系疾患の予防に重要と、知られている。

PREDIMED 試験は、比較的低脂肪の食事と高脂肪の地中海食を心臓血管系疾患の一次予防に関して試験した。

心臓血管系複合転帰の結果としての減少は、パラダイム・シフトを心臓血管系栄養にもたらした。

多くの食事要因がこの影響に寄与しそうであるが、地中海食の内因性抗酸化系に対する影響および食事性ポリフェノールの影響に、この総説は注目した。

PREDIMED 試験のサブグループ分析が、地中海食事群における内因性抗酸化物の増加および酸化促進作用の低下を明らかにした。

その上に高いポリフェノール摂取は、主要転帰、総死亡率、血圧、炎症性バイオマーカー、2型糖尿病の発症、および肥満の低い発症率と関連した。

ポリフェノールは地中海食事群における主要事象の低い発症率に寄与するであろうと、このことが示唆する。

この論文で、特に PREDIMED コホートで地中海食にみられるポリフェノールの効能の可能性を、我々は要約する。

非地中海沿岸住民での PREDIMED の研究結果を確認および拡張してポリフェノールの正確な作用機構を決定するための、さらなる研究の必要性も我々は考察する。
